

ポロプリズム

ウィンドウ

プリズム

球面レンズ

ミラー

スプリッター

波長板

偏光光学素子

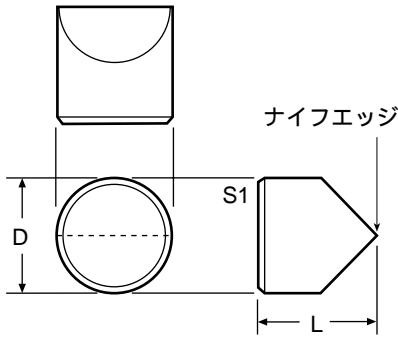
超短パルス用光学素子

エタロン

フィルター

干渉計用アクセサリ

マウント

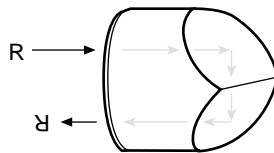
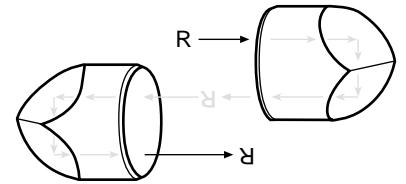


基板材質	UVグレードフューズドシリカ、またはBK7
平面度	/10 (@633 nm、コーティング前において)
表面品位	10-5、CVIレーザークオリティ
寸法公差	: + 0.00 mm、 - 0.25 mm
	長さ: ± 0.25 mm
角度公差	≤ 10秒
面取り	0.35 mm、45°標準
ナイフエッジ	≤ 5 μm
有効寸法	直径中心の85%以上
減反射コーティング	単一波長AR: R ≤ 0.25 % 広帯域AR: R _{avg} ≤ 0.50 %

CVIメスグリオの全ての低損失、高エネルギー用ARおよび広帯域ARコーティングを施す事が可能
他の波長、寸法の製品にも対応可能

その発明者である Ignazio Porro の名前から命名されたポロプリズムは、像の方向を変更するために使用される反射プリズムの一種です。光はプリズムの大きな面に入射され、45°の斜面における2度の内部全反射の後、再び大きな面から出力されます。像はポロプリズム内で180°回転し、入射した位置からプリズムの中心に対して正反対の位置にオフセットされ出射されます。像は2回反射するため、像の左右方向の向きは変化しません。ポロプリズムは、破損を最小に抑え、組み込みを容易にするため円筒形の形状をしています。

ポロプリズムはほとんどの場合ペアで使用され、二重のポロプリズムを形成します。第二のプリズムは、ビームが双方のプリズムを透過できるように配置します。プリズムシステムの作用は、像を180°回転し、元々の方向に平行でありながら位置がずれる点です。この時も、前述のように左右方向の像の向きは変化する事はありません。



一対のポロプリズムは、反転した像を再び正しい向きに合わせるために小型の望遠鏡に使用され、多くの双眼鏡では対物レンズと接眼レンズの間の長い距離の折り曲げと像の反転の双方に機能します。

ポロプリズム

製品番号	直径 D (mm)	長さ L (mm)	基板材質	ARコーティングの波長範囲 (nm)
PORR-05-C-450-694	12.7	12.7	BK7	450 ~ 694
PORR-05-C-532	12.7	12.7	BK7	532
PORR-05-C-1064	12.7	12.7	BK7	1064
PORR-05-UV-450-694	12.7	12.7	フューズドシリカ	450 ~ 694
PORR-05-UV-532	12.7	12.7	フューズドシリカ	532
PORR-05-UV-1064	12.7	12.7	フューズドシリカ	1064